

# 5月13日「現場復帰」という

## 「長嶋リハビリ情報」の真贋

脳梗塞による入院から3  
カ月。ミスタープロ野球・  
長嶋茂雄氏(68)は、いまだ  
公の場に姿を見せていない。  
様々なリハビリ情報が飛び  
交う中、今度は7月13日、  
14日に行われる日本代表予

ームの壮行試合観戦に意欲  
を示したと報じられたのだ  
が……。

もしこの観戦が実現すれ  
ば、ミスターの4カ月ぶり  
の「現場復帰」となる。

「当日はユニフォーム姿で  
ベンチ入りというわけには  
いかないでしょうが、必ず  
来てくれると思います」  
と話すのは、この情報を  
明らかにした中畑清ヘッド  
コーチ。

「長嶋監督と直接お会いし  
たわけではありませんが、  
1日5時間もリハビリをし  
ているそうです。会話も早  
口でなければ普通に話せる  
ということ。奇跡を起  
こす人ですから、必ずオリ  
ンピックには間に合うと信  
じています」

とはいえ、かく言う中畑  
氏も長嶋氏ご本人に会って  
はいないのだから、これを  
鵜呑みにするわけにもいく  
まい。

「一時、長嶋さんが巨人の  
投手陣の投球が「甘い」と  
言ったと伝えられました。が、  
実際にハッキリと発音でき  
たわけではない。右手の麻  
痺は残っているが杖なしで  
歩けたという話ですが、本

当のところは家族のほかごく少数の関係者にしかわかっていません」(スポーツ紙デスク)

## 中畑監督代行

「長嶋さんの症状は中大脳動脈の梗塞ですから、ほとんど足に影響はないはず。杖を使わず歩いてるのは本当かもしれない」

と脳神経外科学会認定医の眞田祥一氏はいう。だが、「あくまでも一般論ですが、右手の麻痺が残っていると



すれば、言語中枢を司る部位もダメージを受けている可能性が高い。言葉のほうはまだ時間がかかるのではないでしようか」

というのは「くどうちあき脳神経外科クリニック」の工藤千秋院長。また、ある程度回復したとしても、実際にアテネに行くとなれば、さらに問題が出てくる。

「飛行機の気圧はさほど問題ありませんが、長時間の飛行により、痙攣を起こすこともある。ですからなるべくゆったりとした環境で移動しなければならぬし、痙攣を抑えるための薬も必ず必要です。また、アテネの気温が高いとなれば、脱水症状を起こし、脳梗塞を誘発しやすくなる。できるだけ多くの水を飲まなければなりません。長嶋さんにはリハビリで嚙下力を強めてもらわなければなりません」(工藤院長)

アテネへは飛行機で十数時間、夏は40度になることもあるというのだから、どう考えても病後の長嶋さんには苛酷な条件だが、それ

やっぱり長嶋サンしかない?

でも、「長嶋監督」はすでに既成事実化しつつある。

「一時は代役として星野前阪神監督や原前巨人監督の名前が挙がりましたが、すでに消えました。代表チームは実質的に読売グループが仕切っていますから、星野は絶対に阻止しますし、原は中畑よりはましかも知れないという消極的な理由で名前が挙がっただけなのです」と前出のスポーツ紙デスク。リハビリ中の長嶋氏に頼らざるをえないのにはワケがある。

「たとえばオリンピックチームに協賛金を出している企業は長嶋ジャパンだからこそお金を出している。代えたら背信行為です。各球団が大事な時期に選手を出すのも、長嶋監督だからこそ。壮行試合にしても、長嶋さんが来るかもしれないとなれば、いい前宣伝です。実際にアテネに行こうが行くまいが、監督は長嶋さん以外ありえない。現場での指揮は中畑監督代行が執ることになりそうなのです」

大丈夫か、日本代表。